

### 7月13日 いつまでもホテル飛び交うまちに 旭志小児童がホテルの幼虫を放流

旭志小学校5年生40人が伊萩区の集落内に流れる井手にゲンジボタルの幼虫を放流。本活動は稲葉一義さん(高柳)の指導の下、卵から採取し育ててきました。稲葉さんは「ホテルを身近に感じてくれたらうれしい」と話しました。



伊萩区に住む安武祐真さんは「来年のホテルが楽しみ。定期的に幼虫のお世話をしたい」と笑顔で話しました

### 7月14日 菊池観光協会 観光案内コースを新設

菊池観光協会(合志和洋代表理事)は、新型コロナ終息後を見据え、市内の史跡や自然などを巡る観光案内コースを新設。世界かんがい施設遺産である築地井手や眼鏡橋を眺められる迫間川などの4コースを追加しました。



「菊池観光案内人の会」のメンバーら13人が築地井手コースを実際に回り、観光客へのもてなしや案内の知識を学びました

### 7月19・20日 B&G海洋センター 旭志小で「水辺の安全教室」を実施

全学年を対象にB&G海洋センターの「水辺の安全教室」を実施。水辺の危険性や対処方法を知る紙芝居やペットボトルによるセルフレスキュー、ライフジャケット着用による水中での行動方法などを学びました。



本教室はB&G財団が推奨し、子どもたちに自分の命は自分で守る意識と技能を身につけ、安全に水辺で楽しく活動してもらうためのものです

### 7月13日 菊池高校 江頭市長に婚活イベントをプレゼン

菊池高校商業科の3年生が市の地域課題解決のために婚活イベントを企画し、江頭実菊池市長へプレゼンを実施。イベントは菊池高校を会場に、授業形式で調理実習や体育などをし、最後に校内放送で告白を行う予定です。(関連30頁)



プレゼンでは、授業の一コマに夫婦円満の秘訣を市長夫妻に講義してもらおう直接依頼をする場面も。イベントは10月30日開催予定です

### 7月14日 包括協定締結調印式 3社による連携協定を締結

市は旧迫水小学校に設立された熊本県菊池エミュー観光牧場(株)とその出資会社である日本食品(株)、さらに「めんべい」の製造販売をする(株)山口油屋福太郎の3社と、地域社会発展のための包括的連携協定を締結しました。



菊池水田ごぼうを使用した「菊池めんべい」の商品発表もありました。市内の物産館や道の駅などで販売中です

### 7月14日 菊池幼稚園 園児が菊池溪谷の魅力に触れました

菊池幼稚園の年長の園児が菊池溪谷へ出かけました。溪谷内の生き物や植物を観察し、手で触れ、自然や生態系への理解を深めました。同園では地域の自然の大切さや発見の楽しさを学ぶため、定期的に園外保育を行っています。



参加した園児たちは「初めて菊池溪谷に来たけど楽しかった」「また遊びに来たい」などと笑顔で話していました

### 6月25日 菊池市青年団七城支部 七城の幼・保育園児が田植えに挑戦

青年団七城支部が双羽幼稚園、峯保育園、清泉保育園、加茂川保育園の年長児を招待し田植えを実施。毎年町内の幼・保育園に田植えと稲刈りの体験行事を行っています。園児は転びそうになりながらも、楽しんでいました。



子どもたちは、「楽しかった」「難しかったけど、田んぼの中が冷たくて気持ち良かった」と話していました。秋には稲刈りも行います

### 7月7日 七城中学校 社会人7人が「生き方」について講話

七城中学校で消防士や牧場従業員などの職種7人が人生観や職業観について2・3年生約100人を対象に講話。菊池郵便局に勤める安達慎一郎さんは、大学入学のために浪人した経験談を話し、「夢を諦めないで」と力説しました。



同校の淵上璃央さんは「努力することの意義や粘ることの大切さが分かった」と話しました

### 7月6日 菊池市ふるさと創生市民広場 KUMAMOTO FURUGI CARAVAN

本イベントは熊本の古着シーンを盛り上げようと、市内飲食店で店長を務める亀崎修一さんが企画しました。県内外の有名古着屋8店舗、市内飲食店5店舗が出店。来場者は品定めしながら楽しんでいました。



亀崎さんは「コロナ禍で苦戦している店舗を応援するため、今後もイベントを開催したい」と話しました。次回は玉名市で実施予定です

### 5月16日～7月4日 第72回菊池都市体育祭 熱戦あふれる競技を展開

菊池都市民体育祭が開催され、雨雲の合間を縫い、16競技中7競技が行われました。昨年からコロナ禍により試合回数も激減し無観客試合でしたが、いつも以上に活気が満ちあふれ熱戦が繰り広げられました。



総合優勝は合志市。今体育祭の結果の元、9月11日(土)・12日(日)開催の熊本県民体育祭八代会への派遣選手とチームが決定します

### 7月4日 (株)白金の森 「シェアハウス白金」完成見学会を開催

(株)白金の森が起業や創業者を目指す男性向けの施設「シェアハウス白金」の完成見学会を開催。松岡義博代表取締役や一級建築士事務所ANDの中村新五代代表から施設を造った経緯やコンセプトなどの説明がありました。



市と(株)白金の森は6月に包括協定を締結。今後は連携しながら、移住・定住の推進を図ります

### 7月10日 第71回社会を明るくする運動 ミニ集会を開催しました

7月を「社会を明るくする運動」の強調月間とし、保護司会や更生保護女性会などの関係団体と啓発事業を実施。今年度はコロナ禍で活動しにくい状況でしたが、保護司会と合同でミニ集会を開催し、啓発車両で市内を巡回しました。



本運動は犯罪や非行の防止と過ちを犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くための全国的な運動です